

校

二年 筆順 10
オソ コウ
クソ



ひとがあしを「交さ」させたかたちをあらわし、「まじわる」いみをあらわした「交」と、「木でつくったもの」をあらわすし「木」とをくみあわせた字で、「子どもたちが「まじわり」まなぶ「がっこう」をあらわした字です。「学校」のこと。

「校は、木と交との会意・形声字で、「木を交差させて作った「かせ」を表した字である。罪人の手や足にはめるものであるから「罪状を「しらべる」意味に使われ、「しらべる」ことから「書物を「しらべる」学校」の意味に使われるようになったものである。」

使い方

▽わたしの学校には、さんがいだての校舎と、ひろい校庭があります。

▽ぼくのおとうさんの出身校は、〇〇大学です。

▽かぜがやっているの、あしたは休校になります。

熟語例

▽学校（こどもたちがあつまって、先生にべんきょうをおそわるところ。小学校、中学校、高等学校など、いろいろな学校があります。）

▽校舎（学校のたてものこと。）

▽校庭（学校の庭。てつぼう、うんていなどがあり、はれている日には、たいそうやドッジボールなどをやる場所です。）

▽出身校（そのひとがそつぎようした学校）

▽登校（学校へいくこと。）

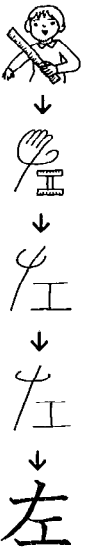
▽下校（学校からいえへかえること。）

▽休校（学校がお休みになること。）

▽校正（ほんとうのほんができるまえに、ゲラざりというさいしよにின்さつしたものと、げんこうとをくらべて、まちがいがなしかをしらべること。）

左

二年 筆順 5
オソ サ
クソ ひだり



「ひだりて」のかたちをあらわした「ナ」と、「大工」さんがつかう「ものさし」をあらわした「工」とをくみあわせた字で、「ものさしをもつて」をあらわしました。ものさしをつかうときは、かならず、「ひだりて」にもちますので、「ひだり」といういみをあらわしました。中国では、「右」と「左」とでは、「左」のほうが、くらいがしたから、「くらいがした」といういみにつかわれます。

「わが国では、「左」が上位だったので、「左大臣」は「右大臣」の上位であった。」

使い方

▽「左手」のことを「弓手」というのは、ぶしがうまのるとき、左手に弓をもったからです。

▽このみちを「左折」すると、「左右」にさくらなみ木がつづくみちがあります。

熟語例

▽左右（左と右。また、左や右のこと。「かたわら」「まわり」のいみにつかいます。）

▽左折（「左に折れる」といういみで、「みちを左にまがる」ことをいいます。）

▽左遷（「左に遷る」といういみで、くらいややくめが「かくさげ」になることをいいます。）

▽左翼（「左の翼」といういみのことば。やきゅうではレフトのこと。フランスのぎかいで、左翼せきに、かくしん派がすわったことから、「かくしん派」のいみにつかわれます。）

▽左傾（「左に傾く」といういみのことばで、「かんがえたか」が「かくしんてき」なこと。）

▽極左（極端な「かくしん派」のこと。）